

CHUBI

Vol. **04**

2024.06

令和7年度版

日文の教科書は

\\ 学びやすい! \\

\\ 使いやすい! \\

題材ページと資料ページが 一体となっています!



日文的 Web サイト
新版教科書情報



日文 🔍

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。
本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。



心が動く、その先へ。

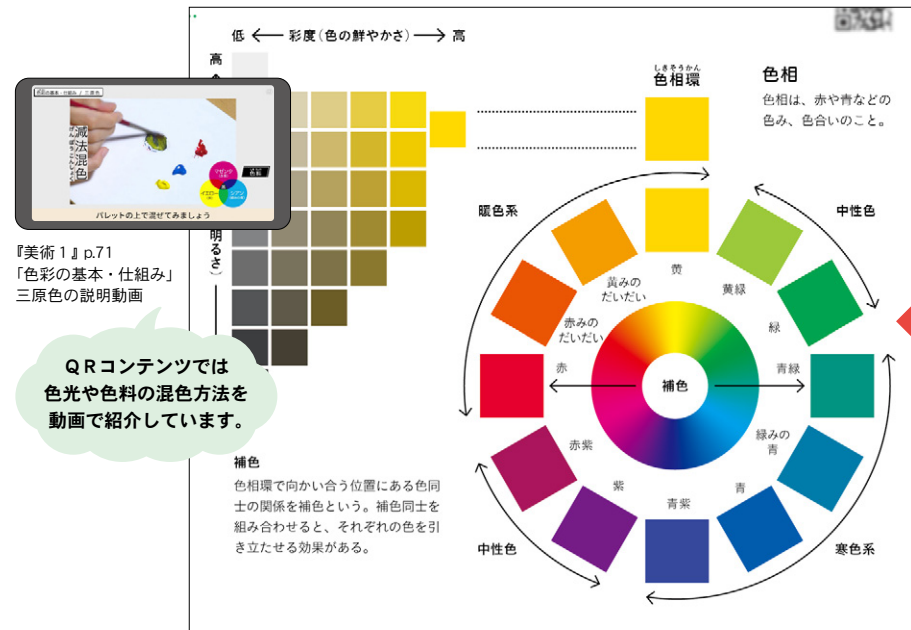
日本文教出版

紙面とQRコンテンツでさらに充実！ 「学びを支える資料」代表的な3つの活用例

色彩 日本色彩研究所監修の資料で 各題材で活用できる！

美術1では、作品の鑑賞にも生かせる色相環や色の対比などの充実した資料を掲載しています。

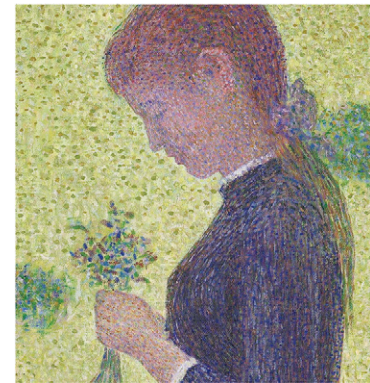
美術1 p.70-72 色彩の基本・仕組み



『美術1』p.72 「色彩の基本・仕組み」色の三属性

この学びで活用できる

表紙、p.2-4 美術との出会い



『美術1』p.4 「美術との出会い」
グランド・ジャット島の日曜日の午後(一部)
1884~86 ジョルジュ・スーラ

色相環や点描の効果を学ぶことで、スーラがなぜ点描で描いたのかを実感的に理解することができます。

技法 技法動画、専用アプリで さらに学びやすく！

美術2・3上では、人の動きを表現するために必要な形のとらえかたや、針金と粘土を使った制作の流れなどを掲載しています。

美術2・3上 p.55 人物をつくる

制作の流れの説明動画

QRコンテンツでは制作の流れを動画で確認できます。

技法
人物をつくる
人物の運動感を表現するには、多方向から観察し、体の厚さやはしれ、関節の位置を意識することが大切です。関節の美しい動きを見つけ、スケッチし、立体で制作しましょう。▶参照 P.12~13 「瞬間の美しさを形に」

形をとらえる
運動感のある動きの写真などを手本に、人物の骨格や動きを意識して、多方向からスケッチする。体の反りや傾き、ねじれを意識して、形をとらえると、動く方向を表現できる。

①デッサン人形アプリ
[コンピュータ/サイズ可変]
関節や筋肉の場所と形に注目し、体を伸ばす所と、力をためる部分を観察しよう。

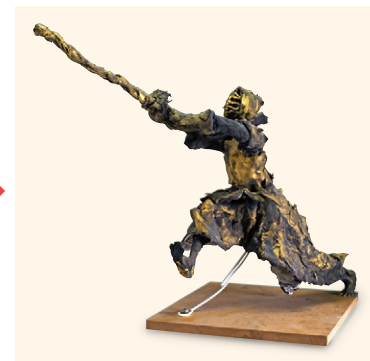
関節の位置やポーズの形を確かめることができます。

デッサン人形アプリ

『美術2・3上』p.55 「人物をつくる」

この学びで活用できる

p.12-13 瞬間の美しさを形に



『美術2・3上』p.12-13 「瞬間の美しさを形に」
生徒作品 面!!

紙面やQRコンテンツを用いることで、制作の深度に合わせて適切な技法を学ぶことができ、個別最適な学びにも対応しています。

鑑賞 鑑賞資料の充実で 学びが深まる！

美術2・3下では鑑賞資料として、全国のアートイベントや多様性と社会に関わる美術作品、プロジェクトを掲載しています。

美術2・3下 p.48-51 さまざまなアートに触れよう



『美術2・3下』p.51 「さまざまなアートに触れよう」 社会と関わる美術 雪に包まれる被災地 2011 加川広重



加川広重さんインタビュー

QRコンテンツでは作者の加川広重さんからのメッセージを動画で視聴できます。



『美術2・3下』p.48 「さまざまなアートに触れよう」 全国のアートイベント YohaS 2022 千葉公園

この学びで活用できる

p.24-29 あの日を忘れない



『美術2・3下』p.24 「あの日を忘れない」 誕生 2013~16 池田学

災害や戦争などの衝撃的な出来事に対し、美術の力で何ができるのかを問いかける題材「あの日を忘れない」。資料と合わせて見ることによって美術と社会のつながりについて考えを深めることができます。

資料ページ一覧

1

ページ	種類	タイトル
56-57	鑑賞	火焰型土器【原寸大】
58-59	表現鑑賞	発想・構想の手立て①/ 鈴木康広、田中達也
60-61	表現鑑賞	発想・構想の手立て②
62	技法	どんなふうに描きたい?
63	技法	さまざまな技法で描く
64	技法	木版画/水墨画の表現
65	技法	文字の基本
66-67	技法	木でつくる
68-69	技法	粘土でつくる
70-72	色彩	色彩の基本・仕組み
73-74	鑑賞	美術館へ行く

2・3上

ページ	種類	タイトル
50-51	鑑賞	岡本太郎「芸術はみんなのもの」
52-53	鑑賞	暮らしに息づくパブリックアート
54	技法	立体を描く/遠近感を表す
55	技法	人物をつくる
56	鑑賞	北斎の大波
57	技法	金属でつくる
58-61	鑑賞	日本美術と世界の美術の歩み
62	色彩	日本の伝統色
63	色彩	色彩の特徴を深く知る
64	技法	写真で表現する

2・3下

ページ	種類	タイトル
48-51	鑑賞	さまざまなアートに触れよう
52-53	技法	動画で表現する
54-55	鑑賞	絵巻物の世界
56	鑑賞	仏像の種類/美術文化の継承
57	鑑賞	日本の世界文化遺産
58	鑑賞	受け継ぐ伝統と文化
59	色彩	世界の工芸品と色彩

Point

▶参照 P.71 「三原色」「混色と重色」「色の対比・同化」

題材ページと資料ページには、それぞれ関連するページを示す「参照マーク」を設けています。

もっと知りたい 絵巻物

資料ページには、さらに学びを広げるために「もっと知りたい」という項目を設けています。関連するキーワード検索の例を示しています。

3年間役立つ 「発想・構想の手立て」

美術1の資料では、作家の作品制作のプロセスとともに、生徒が授業で活用できる発想・構想の方法を紹介しています。

p.58-59 アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？

きっかけを探す

気になる物事に会ったらすぐノートにスケッチ。「たまたま開いたページに描くので、目にする過去のアイデアにワクワクすることも」

偶然見つけたイメージを、ノートに残す。「飛行機の窓から見た船が、ふとファスナーに見えたんです」

あの船、ファスナーみたいだな

300冊以上も!

「余白に思いつきを描き足せるようにしています」

「思いつきを人に話すと、アイデアが膨らんで面白くなるのが多く、おすすめです!」

アーティストの鈴木康広さんと、田中達也さんの発想・構想の手立てや制作の様子を、教科書紙面やQRコンテンツで詳しく紹介しています。



『美術1』p.58-59「発想・構想の手立て①」田中達也さんと作品撮影の様子
試しながら並べ方や撮り方を考えるそう。



鈴木康広さん

『美術1』p.58-59「発想・構想の手立て①」鈴木康広さんの発想の様子

p.60-61 みんなはどうやって作品をつくる？

発想・構想の手立てとして、言葉だけではなく、スケッチや写真などを用いた様々な方法を紹介しています。

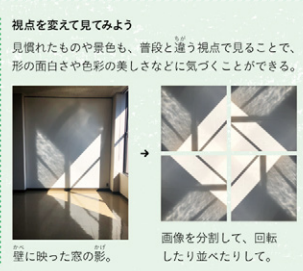
鑑賞する～発想のきっかけを探そう～

作品だけでなく、ものや景色などの形や色彩に興味を持って見ることも鑑賞といえる。ものの形や色彩が作り出す美しさや面白さ、イメージを感じ取ることは、新しい発想を生むきっかけになる。

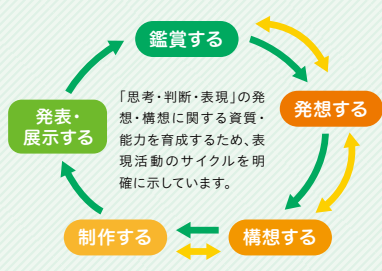
【さまざまな作品を見る】

今にも動きそう!

ほかの人がつくった作品を通じて、新しい視点や考え方に触れることができる。



生徒目線の表現活動のサイクルに添って示しているから使いやすい



『美術1』p.60-61「発想・構想の手立て②」生徒の作品制作のプロセス「鑑賞する」より

【資料提供】日本色研事業
【クレジット】「誕生」デジタルアーカイブ:凸版印刷 / ©KEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo/Singapore
「YohaS」千葉公園YohaS振興会(拓匠開発内) / 体験型デジタルアート制作:東映ツークン研究所

令和7年度版美術教科書QRコンテンツサイトは
こちら!

日文 中学美術 LINE登録は
こちら!
「中美(チュービ)」の更新情報等
お届けします!

日本文教出版株式会社
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

- 大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171
- 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618
- 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938
- 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261
- 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690